

戦気 NO-25

Fighting Spirit

発行者: 三谷大和
 編集者: 岩井 淑
 八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム
 電話 & Fax: 047(486)2476 ツヨクナロー
 メール: mitani-y@khaki.plala.or.jp
 URL: http://www.mitani-yamato.com/

マスコットの
 ごんごちゃんです!



2月8日 ダイヤモンドグローブ

福本雄基 判定負け!

福本雄基の対戦相手は杉田純一郎選手(ヨネクラジム: 17戦14勝(7KO)3敗)。2005年全国新人王を弟の裕次郎選手とともに獲得した双子の兄。2008年日本王座決定戦、2009年最強後楽園決勝戦を戦った日本スーパーフライ級1位まで上った実力者。

8ラウンドを戦ったが両者頭をつけた接近戦でボディコンタクトが多く、試合時間の半分は両者が絡み合った展開だったろう。

3ラウンドあたりから雄基の出入りのボクシングが少なく杉田選手のボディアッパーをもらうようになり、4ラウンドに鼻血が出始めた。5ラウンドに雄基はホールドで減点1を宣告された。雄基は体力戦で消耗したのかいつもに比べて動きが鈍い。最終8ラウンドは盛り返して果敢に打ち合ったが3:0(78:74、79:74、80:74)の判定負けだった。

雄基はこの敗戦で多くのものを学んだだろう。人生は負けから多くのものを学ぶものだ。敗戦から学べないボクサーに進歩はない。この敗北を糧として前進しよう。雄基、期待しているぞ。

三谷会長のコメント

福本は杉田選手と実力の面では差がありましたけれど気持ちの面では差はなかった。気持ちで負けていなかったという意味で最後の2ラウンドを引かなかったということは福本にとって物凄いキャリアになったと思う。負けは負けだけれど福本が将来3倍にも4倍にも強い男になって帰ってくると僕は信じているし、そういう面での今回の負けは負けではないと思っています。福本は必ず強くなって戻ってきます。もう1回2年後に、杉田選手はチャンピオンになっていると思うので福本を指名してきたら即、受けます。みんなが避けても福本にはやらせませす。その時はしっかりテクニックを発揮出来るボクサーにしていきたい。杉田選手は凄いい右ストレートを思い切って打つだけけれど福本はことごとくかわしボディ以外は当たらなかった。福本は反射神経が物凄いい選手で相手の動きを見てかわしているのが将来徳山みたいなタイプになるでしょう。徳山がチャンピオンになれたのは攻撃ではなく目かわす、相手のパンチが当たらないタイプだった。福本にももう少しパンチをつけて福本の良さを伸ばすよう教えて行きたい。だからこの負けを心を折る負けにして欲しくない。長いラウンドを本当に自分のボクシングが出来るようになったら福本は強くなります。

加藤はいい展開だった。このまま突っ走って欲しい。



ごんごちゃんは見た!!



鳩山由紀夫首相が学んだアメリカのカリフォルニア州シリコンバレーにあるスタンフォード大学で教育学・心理学の教鞭をとるジョン・D・クランボルト教授は『計画的偶発性理論』というキャリア論を発表しています。内容は、個人のキャリアの8割は予想しない偶発的なことによって決定されているならば、その偶然を計画的に設計し自分のキャリアを良いものにしていくという考え方で、5つのキーワードを挙げています。好奇心、持続性、楽観性、柔軟性、冒険心、の5つです。且つ、事象を客観的に判断するための論理的思考力の重要性を挙げています。ビジネスマンだけでなくアスリートにとっても5つの能力は重要だと思います。



日本ランカー同士の果敢な打ち合いが続いた

加藤健太 豪快なKO勝ち



あっというまの展開だった。加藤は1ラウンドから左右のストレートやフックを的確にヒットさせる。その衝撃に錯塚選手は驚き戸惑っているように見えた。後半には錯塚選手の動きは止まり、加藤の強烈なパンチが容赦なくヒットし崩れるようにダウンを喫する。立ち上がったものの錯塚選手に戦意は感じられない。ゴングに救われたように1ラウンドが終了した。

2ラウンドが開始されても錯塚選手のダメージは回復していなかった。加藤が襲い掛かると浦谷レフェリーは両選手の間に入り開始12秒で試合を止めた。加藤の圧倒的なパンチ力だけが目立った試合で、加藤は汗ひとつかかない姿でリングを降りた。加藤は本当に強くなった。今年中にランカー入りを目標に頑張っていく。

2ラウンドが開始されても錯塚選手のダメージは回復していなかった。加藤が襲い掛かると浦谷レフェリーは両選手の間に入り開始12秒で試合を止めた。加藤の圧倒的なパンチ力だけが目立った試合で、加藤は汗ひとつかかない姿でリングを降りた。加藤は本当に強くなった。今年中にランカー入りを目標に頑張っていく。

加藤健太の言葉

パンチが当たれば勝てると思っていました。試合に勝てたことは良いことなんですけど試合後に顔を縫わなかったのは久しぶりです。1ラウンド終了間際、会長が「行け! 行け!」という合図を送ってきたので残り10秒だったけれど追撃した。2ラウンドはレフェリーに良い印象を与えて、すぐ止め易いように動いた。結構冷静に戦っていたんです。

スケジュール

3月11日 平井良維、鬼ヶ島竜、岩井大、
 3月17日 前川秀樹
 4月27日 斉藤 司、

編集後記 客観的判断で明らかに実力差がある相手に果敢に挑戦していくボクサーを見ていると熱い思いが胸に湧いてきます。前に立ちはだかる障壁を乗り越えていくため厳しい自己節制の上で肉体的精神的に強くなっていくボクサーに熱視線を送ります。